

平成23年度 学校評価 集計結果(児童対象)7月

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16
1 よくあてはまる	237	291	170	203	203	218	376	308	311	297	383	295	331	415	298	359
2 だいたいあてはまる	190	185	210	194	168	139	99	154	157	173	97	140	106	69	118	110
3 あまりあてはまらない	59	17	95	79	89	95	12	25	18	20	12	46	39	9	47	19
4 まったくあてはまらない	9	1	14	17	31	42	5	8	8	2	2	13	16	2	32	7
平均	1.68	1.45	1.90	1.82	1.89	1.92	1.28	1.46	1.44	1.45	1.26	1.55	1.47	1.19	1.62	1.34
ランク	12	7	15	13	14	16	3	8	5	6	2	10	9	1	11	4
サンプル数	495	494	489	493	491	494	492	495	494	492	494	494	492	495	495	495

※1上段は、各質問項目別の回答度数分布

「平均」は、度数分布を得点化したときの平均得点、数値が少ない方が望ましい結果となることを示している。

「ランク」は、1位から16位までの順番を示す。1位がトップとなり、16位が最下位となる。

※2

罫線内青系統の塗りつぶしは上位3位まで、赤系統は下位3位までを示している。

<集計結果>

集計の結果、以下のような意識を児童がもっていることが明らかとなった。

- ・Q14(決められた通学路を通して登下校していますか。また、火災や不審者進入などの緊急の時に、安全に避難することができますか。)、Q11(係の仕事や委員会活動、縦割り遊びなどに、進んで取り組んでいますか。)、Q7(チャイムを守って、学校生活を送っていますか。)の項目で、望ましい結果となった。反面、Q6(読書を週2~3回以上行っていますか。)、Q3(授業中、自分の考えを持って課題に取り組んだり、発表したりしていますか。)、Q5(自主学習を進んで行い、先生に提出していますか。)の項目が、他項目と比べて低い結果となった。

<分析結果>

- ・他と比べると、学習面に対する意識が低いことが明らかとなった。(平均値が2.00以上ではないので、本当に低いとはいえないが・・・)
- ・安全意識、特別活動への参画意識、規範意識は、比較的高いことが明らかとなった。

平成23年度 学校評価 集計結果(保護者対象)7月

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16
1 とてもよくあてはまる	69	78	56	63	91	41	121	85	31	53	43	111	162	46	62	61
2 あてはまる	141	121	134	96	106	44	140	127	89	127	141	194	83	107	101	118
3 だいたいあてはまる	218	174	199	147	144	95	164	197	234	243	219	159	115	203	147	170
4 あまりあてはまらない	43	61	67	122	91	165	43	59	93	44	66	14	84	102	129	85
5 あてはまらない	7	25	16	35	38	71	9	10	28	12	11	1	27	16	32	24
6 まったくあてはまらない	3	14	5	18	11	65	2	2	3	1	0	1	8	4	10	23
平均	2.56	2.74	2.72	3.05	2.82	3.78	2.34	2.56	3.01	2.66	2.71	2.17	2.49	2.89	3.00	2.92
ランク	4	9	8	15	10	16	2	5	14	6	7	1	3	11	13	12
サンプル数	495	494	489	493	491	494	492	495	494	492	494	494	492	495	495	495

※1上段は、各質問項目別の回答度数分布

「平均」は、度数分布を得点化したときの平均得点、数値が少ない方が望ましい結果となることを示している。

「ランク」は、1位から16位までの順番を示す。1位がトップとなり、16位が最下位となる。

※2

罫線内青系統の塗りつぶしは上位3位まで、赤系統は下位3位までを示している。

<集計結果>

集計の結果、以下のような意識を保護者がもっていることが明らかとなった。

- ・Q12(お子さんは、友達と仲良く遊んだり親切にしてもらったりしていますか。)、Q7(お子さんは、ご家庭で食事や睡眠、登校する時刻などを決めて、規則正しい生活をしていますか。)、Q13(お子さんは、学校以外で、週3回以上、からだを動かして遊んだり運動したりしていますか。)の項目で、望ましい結果となった。反面、Q6(お子さんは、読書を(週平均して)一日あたり、30分以上(1年生は15分~20分)行っていますか。)、Q4(お子さんは、家庭学習を(週平均で低学年は30分以上、中学年は45分以上、高学年は60分以上)行っていますか。)、Q9(お子さんは、誰に対しても正しい言葉遣いをしていますか。)の項目が、他項目と比べて低い結果となった。

<分析結果>

- ・他と比べると、交友関係、規則正しい生活、遊びや運動に対しては、保護者は比較的満足していることが明らかとなった(平均値が2.50以下であるため)
- ・他と比べると、読書時間、勉強時間、言葉遣いについては、保護者はあまり満足していないことが明らかとなった。(平均値が約3.01以上)

<総括>

○児童と保護者の意識を比較してみると、概して見ると相違点が多い。(望ましい結果となった項目と望ましくない結果となった項目とが総じて異なっている)

しいて、共通点をさがすと、以下のようなになる。

○児童、保護者とも比較的望ましい結果となった項目は、Q7(規則正し生活)であった。

○児童、保護者とも比較的望ましくない結果となかった項目は、Q4(家庭学習の時間)、Q5(宿題と自主勉強)、Q6(読書時間)、Q15(将来の夢や希望についての話)であった。